

プールのこと

第十四代 加藤 治

随分古い話になりますが、私が隣の旧制中学校に在学していた時、バスケット部に属するクラスメートが今度名門の京三中と、試合をするのだと語っていたことを思い出します。ところが計らずも夢にだに見なかったその名門山城高校に転任を命ぜられたので驚きも一人だったのです。実際勤務させてもらったのは、停年前の二年間と極めて短期間で、今振り返っても特に強烈な思い出は少ないのですが、就任して最初に感じたことは教職員の方々の、教育活動に対する姿勢でした。その自主性、創造性、積極的な行動力はすぐれたものでした。それまで私の経験した学校より一段と立派なものでした。これが伝統というものであったのかと今も思っています。生徒諸君もそれに応えるように、自由で自主的に行動するさまは、必ず教育成果が期待できると感じたのでした。

さて過日山城高校水泳部がシンクロナイズスイミングの全国大会に出場したことが新聞に大きく写真入りで報じられました。

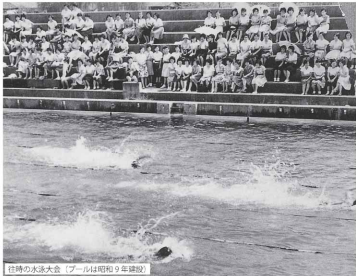
その記事で水泳部員が映画「ウォーターボーイズ」の流行がきっかけで、シンクロを始めたのだと書かれていました。恥ずかしいことですが、私は映画「ウォーターボーイズ」を観ていませんので、よく分かりませんがこの記事から何となく雰囲気を感じることが出来ます。ここでこのことを取り上げたのは、水泳部の諸君が毎日真剣に練習を積み重ねているであろうプールが、正に私の在職中に完成をみたのでした。少し大袈裟になつて恐れ入りますが、時間のかかる文化財調査のこととて、水泳の季節には必ず間に合わせてくれと、教育委員会へお願いしての結果でした。使い始めるに当たり何をなすべきか当時の渡辺教頭や山本事務部長と相談しました。何はにおいても将来使用する生徒諸君の安全で、当然のことながら、無事故を祈念しなければという結論でした。

当時同僚で洛水高校の校長で平岡八幡宮の宮司でもあった故佐々木素夫氏に相談を持ちかけたところ、即座に将来の安全を祈念してやろうということになり、梅雨明けに近い初夏の暑い日射し（そのような天候だったと思う）の照りつける、プールサイドにテントを張って、ささやかな祭壇を設け使い始めに当

たり簡単な儀式を行いました。そのことから二十数年が経過、恐らく何度となく修理が行われたことと思います。今はどうなっているのかを考え、もしそのプールがシンク口の演技練習に使用されているのかと思うと大変喜ばしく感無量です。更にさらに精進を重ねて一段と飛躍発展されることを希求します。

終わりにりましたが、山城高校が関係者一丸となって益々の隆昌を図られんことを祈っています。





往時の水泳大会（プールは昭和9年建設）